科目名	授業方法	週単位時間	前期	後期	学 科	自動車整備科
		四中江时间	1	1	学 年	一年次
機器取り扱い	講義	年単位時間	前期	後期	教 員	真境名 元行
			20	19	実務経験	有

学習の到達目標	整備作業時の正しい工具の選定及び、正しい工具の使い方を習得させる。 更に自動車の点検、調整、測定、検査用機器、等の取り扱いを習得させ、自動車の整備、故障探究、自動車の検査時の良否の判定に活用させる。
使用教科書·副教材等	自動車整備工具・機器(全国自動車大学校、整備専門学校協会)
教員実務経験	自動車ディーラーでサービスエンジニアとして一般整備、点検整備、自動車 検査員の経験

2 追試験基準

前期試験	試験得点の50点未満
後期試験	試験得点の50点未満

3 補習授業基準

前期	出席率の80%未満
後期	出席率の80%未満

4 成績評価の方法《出席時数が授業時数の80%に達しない者は、評価を受けることができない(学則第8条)》

	前•後期試験	70 %
治州, 22 州	課題・学習への取り組み	20 %
前期•後期	プリント・提出物	10 %
		%

	こうのことが、くらられ、(丁原)が	10/K///
		%
信款無		%
似計៕		%
		%

学 習 内 容		月	学習のねらい	考査範囲	
		① 概要	4	休校(新型コロナウイルス感染対策の為)	
	前	② 工具	5	概要を踏まえ、必要性と安全性について知る。	
ht:		③ 作業用機器	6	基本的な工具の名前と使い方を習得することによって作業性の視 野を広げる。	1~5
第		④ エンジン点検・調整機器	7	電気、油圧、エア・ツールの取り扱い方法を熟知し、その危険性と安全な作業方法を習得する。	前期試験
	期	⑤ 電気装置・調整機器	8	エンジンに対しての故障診断、計測、修正で用いられる機器について習得する。	
	刔		9	電気装置に対しての故障診断、計測、修正で用いられる機器について習得する。	
274	44	⑥ 車両点検・調整機器	10	車両(シャシ)に対して故障診断、計測、修正で用いられる機器について習得する。	
子	後	⑦ 自動車検査用機器	11	主に検査法を元に行われる車両を検査する機器について習得す	
-		⑧ 車体整備用機器	12	る。	(6)~(9)
年		⑨ その他機器	1	主に板金整備等に用いられる車体を修復する機器について習得する。	後期試験
	期		2	その他機器について習得する。	
	炒		3		

6	特記事項
"	1/T HI / # / U

科目名	授業方法	週単位時間	前期	後期	学 科	自動車整備科
		四中江时间	1	0	学 年	一年次
安全衛生	講義	年単位時間	前期	後期	教 員	吉田 茂生
			20	0	実務経験	有

学習の到達目標	労働災害に対する認識を深め、災害防止と、自らの安全に対する習慣を習得させる。また、危険物の対処法、消火法などを理解することで、危険物の資格に挑戦する。
使用教科書·副教材等	安全衛生(能力開発機構、職業能力開発総合大学校) 乙種4類 危険物取扱者受験 教科書(株式会社 向学院)
教員実務経験	自動車ディーラにてサービススタッフとして一般整備、点検整備などを経験 危険物取扱者乙種4類 取得済み

2 追試験基準

- 0	_ <u> </u>			
	前期試験	試験結果	50点未満	
	後期試験			

3	補習授業基準
J	用日以木坐土

前期	なし
後期	

4 成績評価の方法《出席時数が授業時数の80%に達しない者は、評価を受けることができない(学則第8条)》

= 793/123 FT IPM - 2		,
	出席率	20 %
수는 나 미	前期試験	60 %
前期	学習態度	20 %
		%

	こりのことがくこなり、一十別分	70 / / //
		%
仮評価		%
似計៕		%
		%

	学習内容	月	学習のねらい	考查範囲
	①第1章 総説	4	休校(新型コロナウイルス感染対策の為)	
	前 安全衛生の意義、取り組み ②第2章 災害の原因と傾向	5	安全衛生に対する心構えを考え、実践での大切さを理解する。 5Sに対する意識付けと工具類の安全管理	
haha	③第3章 安全一般 ④第4章 手工具の取り扱いに	6	災害事例からの傾向を確認し、工具の取り扱い、保守管理などを 学習し、考える。	(1)~(6)
第	に関する安全管理 ⑤第5章 動力機械に関する	7	動力機械の取り扱い、保守管理、修理などの取り扱いを学習する。	前期試験
	安全管理 ・ 安全管理 ・ 一切 ・ 一切	8	実際にある危険物に対する取扱方法や、保守管理方法などを学習し、理解を深める。	
	 	9	災害時などの消火方法や、施設の安全構造を学習する。 危険物に対する知識を深め、資格へ挑戦する。	
24	後 -	10		
子	[2]	11		
		12		
年		1		
	期	2		
	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	3		

6	特記事項
U.	14 HI 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

科目名	授業方法	週単位時間	前期	後期	学 科	自動車整備科
		<u> 地里</u> 地时间	3	3	学 年	一年次
測定•電装実習	実習	年単位時間	前期	後期	教 員	真境名•平
		十中江时间	60	57	実務経験	有

学習の到達目標	学科で学習した内容を実習にて実物を見て、実際に作業することにより理解 を深める。作業要領を習得し実践に役立つ技術を習得する。
使用教科書•副教材等	二級・三級ガソリン自動車 エンジン編(日本自動車整備振興会連合会) 二級・三級自動車シャシ(日本自動車整備振興会連合会)
教員実務経験	自動車ディーラーでサービスエンジニアとしてエンジンオーバーホール、電 装品等の一般整備の経験

2 追試験基準

前期試験	実習試験得点の50点未満
後期試験	実習試験得点の50点未満

3 補習授業基準

前期	出席率の80%未満
後期	出席率の80%未満

4 成績評価の方法《出席時数が授業時数の80%に達しない者は、評価を受けることができない(学則第8条)》

77 412 (11.1 11)	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
前期·後期	実習試験	60 %
	課題・学習への取り組み	30 %
	プリント・提出物	10 %
		%

	こうのことが、くらられ、(丁原)が	10/K///
		%
信証無		%
1汉計1四		%
		%

		学 習 内 容	月	学習のねらい	考査範囲
	-> /-		4	休校(新型コロナウイルス感染対策の為)	
	前		5		
宏		①測定基礎実習	6		1
第			7	①エンジンを分解して測定する意味と要領を理解させる。 エンジン内部部品の各部寸法等を測定するための各ゲージや メーターの名称、測定要領を習得する。	実習試験
	期		8	7 7 WITH MACKET IN 7 00	
	79 1		9		
محدر	44.		10		
子	後	②基本電子	11	 ②ブレッドボードを使用し抵抗やコンデンサを組み合わせて発振 回路を作成し、電装部品の結線や発振回路を理解する。	
 		③充電・始動装置	12	③オルタネータとスタータ・モータの分解、組付け要領を習得す る。オルタネータの整流回路を理解する。スタータ・モータの構造	2~5
年		④電装品試験	1	や電流の特性を理解する。 ④バッテリの構造と機能を理解し充電器の使用方法を習得する。	実習試験
	廿日	⑤電気回路	2	⑤ヘッドライトの回路を結線し配線図の見方、断線箇所を特定することを習得する。	
	期		3		

6	特記事項
11	

科目名	授業方法	週単位時間	前期	後期	学 科	自動車整備科
基礎実習	実習	年単位時間	14	14	学 年	一年次
			前期	後期	教 員	吉田·真境名
		十年证时间	280	301	実務経験	有

学習の到達目標	学科で学習した内容を実習にて実物を見て、実際に作業することにより理解を深める。 作業要領を習得し実践に役立つ技術を習得する。
使用教科書·副教材等	三級自動車ガソリン・エンジン(日本自動車整備振興会連合会) 三級自動車シャシ(日本自動車整備振興会連合会)
教員実務経験	自動車ディーラーでサービスエンジニアとして一般整備、点検・車検整備、 自動車検査員の経験

2 追試験基準

前期試験	実習試験の成績の50%未満
後期試験	実習試験の成績の50%未満

3 補習授業基準

前期	出席率の80%未満
後期	出席率の80%未満

4 成績評価の方法《出席時数が授業時数の80%に達しない者は、評価を受けることができない(学則第8条)》

= 793/123 FT IPM - 2	<u> </u>	/
	実習試験	60 %
前期·後期	課題・実習への取り組み	30 %
刊	レポート・提出物	10 %
		%

14 は、11 間で文けることがくこなり(子別分の木)//				
		%		
信款無		%		
1以計1川		%		
		%		

	学習內容	月	学習のねらい	考査範囲
	① 工作基本実習 ② 機械操作実習	4	休校(新型コロナウイルス感染対策の為)	
	前 ③ ガソリン・エンジン分解 ④ クラッチ	5	①文鎮、キャリパ・ピストン・コンプレッサを作成しタップ、ダイス、ボール	
55	⑤ M/T・デフ分解	6	盤、アーク溶接機等の使用方法を習得する。 ②リフト、ジャッキ、基本工具、特殊工具等の使用方法を習得する。	(1)~(5)
第		7	③エンジンの脱着、分解、組付けを行い仕組み作業方法を理解する。 ④M/Tの脱着、クラッチの脱着、分解、組付けを行い仕組み作業方法	実習試験
	期	8	を理解する。 ⑤M/Tの分解、組付けを行い仕組み作業方法を理解する。	
	771	9	ディファレンシャルの脱着、分解、組付けを行い仕組み作業方法を理解する。	
学	⑥ エンジン冷却装置・潤滑: ⑦ ステアリング	装置 10	⑥エンジン冷却装置・潤滑装置の各部品を脱着し仕組みを理解する。 ⑦ステアリング装置の脱着、分解、組付けを行い仕組み作業方法を理解	
7	1g 8 ホイール・アライメント 9 サス分解	11	する。 ⑧ホイール・アライメントの測定、調整を行い作業方法を理解する。 ⑨サスペンションの脱着、分解、組付けを行い仕組み作業方法を理解す	
年	⑩ 就職試験対策⑪ 点火・燃料装置	12	る。 ⑩就職実技試験に対応できる点検、取替作業等を習得する。	6~ <u>4</u>
+	② シャシ電装③ ブレーキ	1	①エンジン燃料装置の各部品を脱着し仕組み作業方法を理解する。②パワー・ウインド、ワイパー装置を脱着し仕組み作業方法を理解する。③ブレーキの脱着、分解、組付けを行い仕組み作業方法を理解する。	実習試験
	④ 1年点検期 到達度試験	2	(銀) 日本の記者、カ併、福刊のを打いて届から下来力法を理解する。 (銀) 年点検の点検項目の確認、点検方法を理解し、各自点検順序を工 夫し実践に役立つ技術を習得する。	
	771	3	到達度試験	

6	特言	日由	古百
n	- 米干 ≓	C.#	ᅡ

科目名	授業方法		前期・後期	学 科	自動車整備科
		年単位時間	刊为广发为	学 年	一年次
企業研修	実習	十字匹叭间	35	教員	吉田 茂生

	実践的かつ専門的な職業教育の専攻分野の職業に係る勤労観及び継続
学習の到達目標	的な学習意欲等の醸成、専攻分野の実務に必要となる知識、技術及び技
	能の修得を目的とする

2 成績評価の方法《出席時数が授業時数の80%に達しない者は、評価を受けることができない(学則第8条)》

	研修成果(報告書)	70 %
治州。	研修活動への取り組み	30 %
前期·後期		%
		%

5 学習計画及び評価方法

	学習内容	月	学習のねらい	考査範囲
	①各専攻分野において学院及 び企業との協議の上で決定す	4	休校(新型コロナウイルス感染対策の為)	
			企業研修において研修学生が専攻分野に関する職業に必要な 実践的かつ専門的な能力を修得するための職業教育及び指導	
第		6	等を行う。 	
NA.	期	7		
		8		
		9		1
يد		10		
学		11		
 	後	12		
年		1		
	期	2		
	1 164	3		

6 特記事項 詳細事項に関しては、学院及び企業とで「職業教育に係る事業連携協定書」を締結し決定する。

科目名	授業方法	週単位時間	前期	後期	学 科	自動車整備科
		四	1	1	学 年	一年次
就職実務 I	講義	年単位時間	前期	後期	教 員	大城一貴
		十字位时间	20	19	実務経験	有

学習の到達目標	・就職活動、採用に関する書類作成、試験対策を周知。・過去求人データ及び、企業研究方法の周知。・企業とのマッチング精査、その後希望職種に応募。
使用教科書·副教材等	・これだけは知っておきたい!面接対策&ビジネスマナー
教員実務経験	・専修学校での就職実務指導実績あり

2 追試験基準

前期試験	履歴書の未完成
後期試験	無

3 補習授業基準

前期	履歴書作成に遅れのある者
後期	無

4 成績評価の方法《出席時数が授業時数の80%に達しない者は、評価を受けることができない(学則第8条)》

777777111111111111111111111111111111111	* 10 1 1/11	
	提出物進捗	70 %
그는 Hu · 〈◇ Hu	授業態度	15 %
削粉*後朔 	前期·後期 出席状況	15 %
		%

	こうのことが、くらられ、(丁原)が	10/K///
		%
信款無		%
似計៕		%
		%

	学 習 内 容		月	学習のねらい	考査範囲
	.,		4	休校(新型コロナウイルス感染対策の為)	
	前	Till till till till till till till till	5	・アイスブレイク・学習案内 学生との距離を詰め、学習や就活への取り組み方などを周知。]
<i>5-5-</i> -		【就職活動前事前準備】	6	個人の能動的意欲を促進させる。 ⇒自己紹介、希望職種ヒアリング(アンケート)、自己啓発学習。	履歴書
第		アイスブレイク 就職活動意識付け 企業研究学習	7	・企業研究の周知 ⇒希望条件を具体化し、それに沿った研究の進め方を周知	進捗
	₩H	EXC. (1) E. (1)	8	・履歴書作成 ⇒作成方法の周知。 完成品の検閲、修正。	
	期		9	・採用試験方法の周知及びインターン先選定。 ⇒例年の採用試験傾向を周知。併せてインターン先の選定。	
224	44.	後 【就職活動・企業研究】 —	10	・インターンシップ ⇒実際の職場環境を体感し、企業研究を更に深める。	
子	仮		11	・企業説明会 ⇒授業枠を使用して企業を誘致、学内にて説明会を開催。	
年			12	※採用実績のある整備職を募集する企業が主体となるが、 業界関係職種なども含めた幅広い情報をレポートに納める。	企業 企業 研究
			1	•就職採用試験受験	(レポート)
	抽		2	⇒応募企業の選定後、採用試験の受験を斡旋。 ※並行して採用試験に関する受験対策授業を実施。	
	791		3	(面接所作、一般常識などの筆記対策、履歴書作成など)	

6	州土 三二	事項
n	- // ∓∓Γ	·

科目名	授業方法	週単位時間	前期	後期	学 科	自動車整備科
		四中江时间	1	1	学 年	一年次
コンピュータ概論	演習	年単位時間	前期	後期	教 員	小禄 恵美
		十中江时间	20	19	実務経験	有

学習の到達目標	正しいタイピング法を身につけ、パソコンに対する苦手意識を克服 Word・Excelの基本操作を学習し、文書作成から基礎関数を習得する
	30時間でマスターoffice2019/Microsoft Excel2019 クイックマスター基礎編情報処理技能検定試験 表計算 模擬問題集
教員実務経験	専門学校にてコンピュータ基礎に関する授業経験有

2 追試験基準

前期試験	課題評価	50点未満
後期試験	課題評価	50点未満

3 補習授業基準

前期	出席80%未満
後期	出席80%未満

4 成績評価の方法《出席時数が授業時数の80%に達しない者は、評価を受けることができない(学則第8条)》

77 412 4111 11 7	* 10 1 1/11	
	課題評価	70 %
益期, 25 期	出席率	20 %
前期·後期	検定試験	10 %
		%

	こうのことが、くらられ、(丁原)が	10/k///
		%
信款無		%
似計៕		%
		%

	学 習 内 容		学習内容 月 学習のねらい		考査範囲
	.,		4	休校(新型コロナウイルス感染対策の為)	
	前	① PC基本操作	5	1)ホームポジション 2)タッチタイピング	
h-h-		② Word基礎	6	1)タッチタイピング 2)Word画面構成(ツールバー・リボンの活用)	
第		③ Word実技演習	7	1)タッチタイピング 2)ビジネス文書基本作成 3)表の挿入・編集	1)-(4)
	#1		8	1)表の作成(応用)	
	期	④ Excel基礎 I	9	1) Excel画面構成 (ツールバー・リボンの活用) 2) データの入力	
兴	後	⑤ Excel基礎 Ⅱ	10	1)データの入力 2)グラフ作成	
子	1次		11	1)数式の入力 2)数学/三角関数	
F		⑥ Excel実技演習	12	1)論理関数 2)罫線	(5)-(6)
年			1	1)並べ替え 2)順位付け	9-6
	期		2	1)条件付き書式 2)検索/行列関数	
	别		3	1)総まとめ 2)情報処理技能検定受験	

6	特記事項
U.	14 HI 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

科目名	授業方法	週単位時間	前期	後期	学 科	自動車整備科
		四中江时间	2	2	学 年	一年次
構造及び性能(シャシ)	講義	年単位時間	前期	後期	教 員	吉田 茂生
		十中江时间	40	38	実務経験	有

学習の到達目標	三級自動車シャシの教科書をもとに、シャシの基礎構造について学習し、 二級自動車シャシを学習することができる基礎知識を習得する。
使用教科書·副教材等	三級自動車シャシ(日本自動車整備振興会連合会) 二級自動車シャシ(日本自動車整備振興会連合会)
教員実務経験	自動車ディーラにてサービススタッフとして一般整備、点検整備などを経験 タイヤ空気充てん作業特別教育修了済み

2 追試験基準

前期試験	試験結果	50点未満
後期試験	試験結果	50点未満

3 佣舀授業基準	3	補習授業基準
----------	---	--------

前期	なし
後期	なし

4 成績評価の方法《出席時数が授業時数の80%に達しない者は、評価を受けることができない(学則第8条)》

777777111111111111111111111111111111111	* 10 1 1/11	
	出席率	30 %
分子 中 7公 中	前•後期試験	60 %
前期•後期	学習態度	10 %
		%

	こりのことがくこなり、一十別分	70 / / //
		%
仮評価		%
似計៕		%
		%

5 学習計画及び評価方法

	学 習 内 容		月	学習のねらい	考査範囲
			4	休校(新型コロナウイルス感染対策の為)	
	前	①総論 ②動力伝達装置	5	自動車の概要を説明し自動車の基本構造を理解する。	
haha		③アクスル及びサスペンション ④ステアリング装置	6	クラッチの役目や名称と構造の理解を深める トランスミッションとトランスファの概要、構造の理解を深める	①~④
第			7	プロペラシャフト・ドライブシャフト・デファレンシャルの名称と基本構造、作動を理解する	前期試験
	期		8	アクスル・サスペンションの概要構成名称と基本構造を理解する。	
	刼		9	ステアリング装置の名称を理解する。	
274	40		10	ステアリング装置の基本構造を理解する。	
子	後	⑤ステアリング装置 ⑥ホイール及びタイヤ	11	ホイール及びタイヤの概要、名称と構造を理解 特にタイヤの表記や、オフセットなど	
/-		⑦ブレーキ装置 ⑧フレーム及びボデー	12	ホイールアライメントの種類と走行時の影響を理解させる。	⑤~®
年			1	ブレーキの概要・装置の名称と基本構造を理解させる。	後期試験
	期		2	ブレーキ装置の付属装置の名称と構造を理解させる。	
	妙		3	フレーム及びボディーの構造と名称の理解する。	

6 特記事項

単品部品等を教室に用意し、現物の確認や、名称や構造を教科書やプリントなど絡めて理解を深める。

科目名	授業方法	週単位時間	前期	後前期	後後期	学 科	自動車整備科
	講義	四中亚时间	3	2	1	学 年	一年次
構造及び性能(エンジン)		年単位時間	前期	後	期	教 員	真境名 元行
		十十八时间	60	3	0	実務経験	有

学習の到達目標	エンジンの基礎と新機構の構造や作動についての基本に関することを理解すると同時に、主にガソリンエンジンを中心に電子制御の制御内容など実際に活用できる能力を習得する
使用教科書·副教材等	三級自動車ガソリン・エンジン(日本自動車整備振興会連合会) 二級ガソリン自動車 エンジン編(日本自動車整備振興会連合会)
教員実務経験	自動車ディーラーでサービスエンジニアとしてエンジンオーバーホール等の 一般整備の経験

2 追試験基準

前期試験	試験得点の50点未満
後期試験	試験得点の50点未満

3 補習授業基準

前期	出席率の80%未満
後期	出席率の80%未満

4 成績評価の方法《出席時数が授業時数の80%に達しない者は、評価を受けることができない(学則第8条)》

	前•後期試験	70 %
前期•後期	課題・学習への取り組み	20 %
刊为"仮别	プリント・提出物	10 %
		%

	こりのことがくこなり、一十別分	30/k)//
		%
/巨氫/無		%
似計៕		%
		%

	- '	学習内容	月	学習のねらい	考査範囲
		① エンジンの基礎 ② ガソリン・エンジン本体	4	休校(新型コロナウイルス感染対策の為)	
	前	③ 潤滑装置④ 冷却装置	5	ガソリンエンジンの概要、基礎を学習することで導入のきっかけを 作り、エンジン本体を学習することで今後の原動機の構造の複雑 な機構 に対応できる様にする。	
hoh-		⑤ 点火装置	6	/な/ (CM //L) くさる作成(C y る。	(1)~(5)
第			7	潤滑装置の概要、名称と構造及び作動の理解を深める。	前期試験
	11 11		8	冷却装置の概要、構造、作動について理解を深める。	
	期		9	点火装置の概要、構造、作動について理解を深める。	
274	40	⑥ 吸排気装置 ⑦ 電子制御装置	10	吸排気装置の概要、構造、作動について理解を深める。	
子	後	⑧ 可変バルブ機構⑨ 排出ガス	11	電子制御装置の燃料噴射制御、点火時期制御、アイドル回転速度制御、スロットルバルブ開度制御及びエンジン電装品などの制御の歴典に構造した。	
 			12	御の概要、構造、作動について理解を深める。	6~9
年			1	可変バルブ機構の概要、構造、作動について理解を深める.	後期試験
	期		2	排出ガスの種類、発生原理、低減方法について理解を深める。	
	拗		3		

6	州共三	事項
n	(将干計	· - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1

科目名	授業方法	週単位時間	前期	後前期	後後期	学 乖	自動車整備科
	講義	阿卡亚时间	2	1	2	学生	一年次
電気電子理論		年単位時間	前期	後	期	教	平 宰
			40	2	7	実務経験	有

学習の到達目標	近年自動車の電子化に伴い、その電気・電子の基礎及びハイブリッドや電気自動車の概要を学習し技術の向上へ役立てる。
使用教科書·副教材等	電装品構造(全国自動車整備専門学校協会) 二級ガソリン・ジーゼル自動車エンジン編(日本自動車整備振興会連合会)
教員実務経験	自動車ディーラーでサービスエンジニアとして一般整備、点検整備、自動車検査員の経験

2 追試験基準

前期試験	試験得点の50点未満
後期試験	試験得点の50点未満

3 補習授業基準

前期	出席率の80%未満
後期	出席率の80%未満

4 成績評価の方法《出席時数が授業時数の80%に達しない者は、評価を受けることができない(学則第8条)》

			. • > 0 0 / 0 ()
Г		前•後期試験	70 %
	台曲, 悠期	レポート・提出物	20 %
	前期·後期	学習意欲	10 %
l			%

	7 0.84	/ 1 W1N	JU/K///
			%
信証無			%
1火計៕			%
			%

5 学習計画及び評価方法

	学 習 内 容		月	学習のねらい	考査範囲
	24	①電気の基礎	4	休校(新型コロナウイルス感染対策の為)	
第	前	②計測③磁気の基礎④半導体	5 6	電気とは何かをしっかりと理解させ、今後の実習や授業をスムー ズに学習できる基礎を作る。	①~⑤ 前期試験
	期	⑤モータと発電機	8	サーキットテスタの構造や電圧、電流、抵抗の計測方法について 学習し理解させる。 モータや発電機の原理を基礎から理解させる。	
274	1.81	⑥バッテリ	10	バッテリの目的、構成部品の構造、機能について理解させる。	
子	後	⑦点火装置·予熱装置	11	点火装置・予熱装置の目的、構成部品の構造、機能について理解させる。	
年		⑧始動装置	12	始動装置の目的、構成部品の構造、機能について理解させる。 リダクション・スタータの減速機構、緩衝装置、マグネットスイッチ、 エンジンの始動特性、スタータの特性について理解させる。	⑥~⑩ 後期試験
	期	⑨充電装置⑩灯火装置	1	充電装置の目的、構成部品の構造、機能について理解させる。 オルタネータの三相交流、整流、ボルテージ・レギュレータの働き 及び充電制御機能について理解させる。	
	妙		2	灯火装置の目的、構成部品の構造、機能について理解させる。	

6 特記事項

パワーポイントにて原理、作動を理解させる。必要に応じて構成部品を用意し、現物確認をしながら教科書と併せて理解度を高める。自動車整備士過去問題との関連を含め理解させる。

科目名	授業方法	週単位時間	前期	後期	学 科	自動車整備科
	講義	四半世时间 [1	0	学 年	一年次
燃料、潤滑剤油脂		年単位時間	前期	後期	教 員	吉田 茂生
			20	0	実務経験	有

学習の到達目標	燃料、潤滑剤、作動油などの性質、種類などを学習し、燃焼、点火方法など 自動車での使用例などを理解することで、自動車への興味と理解を深める。
使用教科書·副教材等	内燃機関、燃料·油脂(全国自動車大学校 整備専門学校協会) 自動車工学(一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会)
教員実務経験	自動車ディーラにてサービススタッフとして一般整備、点検整備などを経験 危険物取扱者乙種4類 取得済み

2 追試験基準

前期試験	試験結果	50点未満	
後期試験			

5 開百欠来基準	3	補習授業基準
----------	---	--------

前期	なし
後期	

4 成績評価の方法《出席時数が授業時数の80%に達しない者は、評価を受けることができない(学則第8条)》

	アスルタロー マンフ	$112 \times 11111 \times 111 \times 11$	·0200/01C	
	前期	出席率	40 %	
		수는 11 1	前期試験	50 %
		学習態度	10 %	
			%	

	こりのことがくこなり、一十別分	70 / / //
		%
仮評価		%
		%
		%

学 習 内 容		月	学習のねらい	考査範囲	
	.,		4	休校(新型コロナウイルス感染対策の為)	
	訶	①燃料 ②潤滑剤、潤滑	5	燃料の概要、精製法、種類などを理解し、性状を学習する。	
kaka		③作動油、その他 ④熱機関概要	6	潤滑剤の性状、種類を学習し、必要な性質を理解する。 作動油などその他の性質を理解し、違いによる取り扱い方法を学	①~⑥
第		⑤内燃機関の熱力学 ⑥燃焼	7	内燃機関概要を学習し、理解を深める。	前期試験
	++-0		8	内燃機関で起こる熱力学を学習し、運動エネルギーと熱エネルギ を理解する。	
_	期	행	9	燃焼を理解することで、発生する物質など理解を深めていく。	
兴	<i>3</i> %.		10		
子	後	发	11		
年			12		
17			1		
	期		2		
	79]		3		

6	州共三	事項
n	(将干計	· - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1

科目名	授業方法	週単位時間	前期	後期	学 科	自動車整備科
	講義	地中 亚时间	0	1	学 年	一年次
自動車材料		年単位時間	前期	後期	教 員	吉田 茂生
			0	19	実務経験	有

学習の到達目標	一つ一つの部品の材料の概要、種類、特色、名称等の基本を理解する事で、部品の集合体である自動車での、使用例など学習することで、シャシ・エンジン・ボディなどの興味と理解と深める。
使用教科書·副教材等	自動車材料(全国自動車大学校、整備専門学校協会) 自動車工学(一般社団法人 日本自動車整備振興連合会)
教員実務経験	自動車ディーラにてサービススタッフとして一般整備、点検整備などを経験 タイヤ空気充てん作業特別教育終了済み

2	追試験基準
7.	1日武勋 悬连

前期試験		
後期試験	試験結果	50点未満

3	補習授業基準	É

前期	
後期	無し

4 成績評価の方法《出席時数が授業時数の80%に達しない者は、評価を受けることができない(学則第8条)》

			<u>. • > 0 0 / 0 1 C /</u> c
	出席率	30 %	
	◇ ◇ ∐ □	後期試験	60 %
俊别	学習態度	10 %	
			%

	%
仮評価	%
	%
	%

5 学習計画及び評価方法

		学 習 内 容	月	学習のねらい	考査範囲
	74		4		
	前		5		
宏			6		
第			7		
	期		8		
	刔		9		
224	40	①金属材料の性質	10	金属材料の性質と試験法、検査法の概要を学習する。	
子	後	②鉄鋼材料 ③非鉄金属材料	11	鉄鋼材料の種類や用途、性質を学習し、理解を深める。	
-		④焼結合金 ⑤非金属材料	12	非鉄金属の種類、性質、焼結合金の概要を学習する。	1 (1)~6
年		⑥軽量化構造の材料	1	非金属概要、種類、自動車への使用例など学習し、理解を深める。	後期試験
	期		2	自動車構造を学習し、部位による材料の違いなど理解を深める。	
	别		3		

6 特記事項

教室に単品部品などを用意して、現物を確認することで理解を深める。

科目名	授業方法	週単位時間	前期	後期	学 科	自動車整備科
	講義	年単位時間	1	0	学 年	一年次
製図			前期	後期	教 員	吉田 茂生
			20	0	実務経験	有

学習の到達目標	三角定規、コンパス等用具を正しく使用できる。 三角法による投影を理解して、点、直線、平面を表現できる。 正投影図及び等角図が描ける。
使用教科書•副教材等	基礎製図 練習ノート(実教出版)
教員実務経験	自動車ディーラにてサービススタッフとして一般整備、点検整備などを経験

2 追試験基準

前期試験	50点未満
後期試験	

5 開百欠来基準	3	補習授業基準
----------	---	--------

前期	練習ノートに遅れがあるもの
後期	

4 成績評価の方法《出席時数が授業時数の80%に達しない者は、評価を受けることができない(学則第8条)》

7741241111	* 10 1 1/11	
	出席率	20 %
수는 H B	前期試験	50 %
前期	練習ノート	30 %
		%

	こりのことがくこなり、一十別分	70 / / //
		%
仮評価		%
		%
		%

		学習内容	月	学習のねらい	考査範囲
	.,	①練習ノート 利用方法	4	休校(新型コロナウイルス感染対策の為)	
	訶	①練習ノート 利用方法 ②練習ノート 解説1 文字と記号	5	製図の概要について理解を深める。 製図用具の使い方を覚える。	
kaka		③練習ノート 解説2 線	6	図面の大きさ及び様式について理解を深める。 製図で使用される文字と記号について理解を深める。	(1)~(6)
第		④練習ノート 解説3 投影図 寸法記入	7	線の種類と用法について理解を深める。	前期試験
	++-0	⑤練習ノート 解説4、5 製作図 ⑥練習ノート 応用課題	8	投影法とその種類の理解を深める。	
_	别		9	製作図を描けるようになる。	
兴	後		10		
子	1交		11		
年			12		
+			1		
	期		2		
	79]		3		

6	特記事項	ī
r)	4+ FI	1

	科目名	授業方法	週単位時間	前期	後前期	後後期	学 乖	自動車整備科
	エンジン整備法	講義	四半位时间	0	11	16	学 年	一年次
			年単位時間	前期	後	期	教 貞	真境名 元行
				0	2		実務経験	有

学習の到達目標	エンジンの整備方法を理論的に学習し、測定・検査機器の使用方法を理解することで安全で確実な整備ができる知識を習得している。
使用教科書•副教材等	三級自動車ガソリン・エンジン(日本自動車整備振興会連合会) 二級ガソリン自動車 エンジン編(日本自動車整備振興会連合会)
教員実務経験	自動車ディーラーでサービスエンジニアとして一般整備、車検整備の経験

2	追試験基準
/.	

前期試験	
後期試験	試験得点の50点未満

3	補習授業基準	É

0 III I 17/7/C	
前期	
後期	出席率の80%未満

4 成績評価の方法《出席時数が授業時数の80%に達しない者は、評価を受けることができない(学則第8条)》

	後期試験	70 %
前期·後期	課題・学習への取り組み	20 %
	プリント・提出物	10 %
		%

	こうのことが、くらられ、(丁原)が	10/k///
		%
信款無		%
似計៕		%
		%

5 学習計画及び評価方法

		学習内容	月	学習のねらい	考查範囲
	7		4		
	前		5		
第			6		
 			7		
_	期		8		
	791		9		
兴	後	① 自動車整備の目的② エンジン本体の整備	10	予防整備・故障整備の理解を深める。 エンジン本体の点検・整備の知識を習得する。	
	1次	③ 潤滑装置の整備④ 冷却装置の整備	11	潤滑装置の点検・整備の知識を習得する。 冷却装置の点検・整備の知識を習得する。	
年		⑤ 燃料装置の整備⑥ 吸排気装置の整備	12	燃料装置の点検・整備の知識を習得する。 吸排気装置の点検・整備の知識を習得する。	1~8
		⑦ 点火装置の整備⑧ 電子制御装置の整備	1	点火装置の点検・整備の知識を習得する。 電子制御装置の点検・整備の知識を習得する。	後期試験
	期		2	电1 四字数巨マンが後、出面マンを裏で目分する。	
	791		3		

6 特記事項

単品部品教室に用意し現物を確認、関連の実習を絡めて理解を深める

科目名	授業方法	週単位時間	前期	後前期	後後期	学 科	自動車整備科
		四中位时间	0	2	1	学 年	一年次
シャシ整備法	講義	講義 年単位時間	前期	後	期	教 員	吉田 茂生
			0	3	0	実務経験	有

学習の到達目標	シャシの構造・機能を理解し、点検・整備の際に適切な工具や、計測器を使用して、正しい手順を理解することで技術向上に役立てる。
使用教科書•副教材等	三級自動車シャシ(日本自動車整備振興会連合会) 二級自動車シャシ(日本自動車整備振興会連合会)
教員実務経験	自動車ディーラにてサービススタッフとして一般整備、点検整備などを経験

2	追試験基準
/,	

前期試験	
後期試験	50点未満

3 佣舀授業基準	3	補習授業基準
----------	---	--------

前期	
後期	無し

4 成績評価の方法《出席時数が授業時数の80%に達しない者は、評価を受けることができない(学則第8条)》

	アスルタロー マンフ	$112 \times 11111 \times 111 \times 11$	·0200/01C
		出席率	30 %
	後期	後期試験	60 %
	俊朔 -	学習態度	10 %
			%

	<u> </u>	¥ = 2 4 / //
		%
仮評価		%
1火計1Щ		%
		%

5 学習計画及び評価方法

5	J ,	学習内容	月	学習のねらい	考査範囲
	74		4		
	前		5		
宏			6		
第			7		
	期		8		
	791		9		
兴	後	①動力伝達装置	10	動力伝達装置の点検・修正・分解組み付けを理解し学習する。	
子	仮	②アクスル及びサスペンション ③ステアリング装置	11	スプリング、ショックアブソーバ、ステアリング装置の点検・修正・分解組み付けを理解し学習する。	
/T:		④ホイール及びタイヤ ⑤ホイールアライメント	12	タイヤの編摩耗などからアライメントの修正方法などを理解する。	①~⑦
年	ししノレーキ装直	⑥ブレーキ装置 ⑦フレーム及びボデー	1	ブレーキ本体や各付属部品の点検・修正・分解組み付けを理解し学習する。	後期試験
	期		2	定期的な保守管理を含めた点検・整備方法について理解 し学習する。	
	791		3		

6 特記事項 現物等を確認し、教科書と関連する部分を見ながら理解を深める。

科目名	授業方法	週単位時間	前期	後期	学 科	自動車整備科
	講義	四年117时间	0	1	学 年	一年次
電装整備法		年単位時間	前期	後期	教 員	平 宰
			0	19	実務経験	有

	電装品の点検整備方法を理論的に学習し、測定・検査機器の使用方法を理解することで安全で確実な故障探究と整備ができる知識を習得する。
使用教科書·副教材等	二級ガソリン・ジーゼル自動車エンジン編(日本自動車整備振興会連合会) 二級・三級自動車シャシ(日本自動車整備振興会連合会)
教員実務経験	自動車ディーラーでサービスエンジニアとして一般整備、点検整備、自動車 検査員の経験

2 追試験基準

前期試験	
後期試験	試験得点の50点未満

3 佣舀授業基準	3	補習授業基準
----------	---	--------

前期	
後期	 出席率の80%未満

4 成績評価の方法《出席時数が授業時数の80%に達しない者は、評価を受けることができない(学則第8条)》

77 412 4111 11 7	* 10 1 1/11	
	後期試験	70 %
前期•後期	レポート・提出物	20 %
削粉*後熟	学習意欲	10 %
		%

	(1) のここれ、くらなり (丁原1)	10/K///
		%
信款無		%
似計៕		%
		%

5 学習計画及び評価方法

		学習内容	月	学習のねらい	考査範囲
	24		4		
	前		5		
宏			6		
第			7		
	期		8		
	/9 1		9		
学	後	①バッテリ	10	電解液の液量の調整及び比重の測定方法を理解させる。 充電及び充電方法の種類を学習し、充電中の電圧と比重の変化 及び充電方法での注意事項を理解させる。	
		②点火装置•予熱装置	11	イグニッション・コイル、スパーク・プラグの点検方法について理解 させる。グロー・プラグの点検方法について理解させる。	
年		③始動装置	12	マグネット・スイッチ、スタータ本体の点検方法と性能テストについて理解させる。	①~⑤ 後期試験
		④ 充電装置	1	オルタネータの点検及び性能試験を理解させる。	
	期	⑤灯火装置	2	灯火装置の故障の原因と、配線の点検について理解させる。 ヘッド・ランプの点検・調整について理解させる。 各種ランプの作動と点検を理解させる。	

6 特記事項

パワーポイント動画にて整備機器の使用方法を理解させる。必要に応じて単品部品とテスタを用意し、実際に現物を点検しながら教科書と併せて理解度を高める。自動車整備士過去問題との関連を含め理解させる。